

朝日新聞 2010(平成22)年7月15日(木) 佐賀版 ぶらりミュージアム

158 木曜日 13版▲ 第2佐賀 佐賀 30

ぶらり ミュージアム

県立博物館

ぶらりと歩く。いいにおいがすれば何だろうと考える。花か、食べ物か。

食べることが好きな人は多い。動物にとって、食べることは生きていくために重要である。野生動物であればなおさらである。限られた活動時間内に効率よく食物を得なければ、子孫繁栄は望めない。

他の動物を食べる動物は、すばやく狩りができるようにかみつく口をもっている。さらに、効率的に餌をとるために特殊な形態の

動物たちの捕食の実態紹介

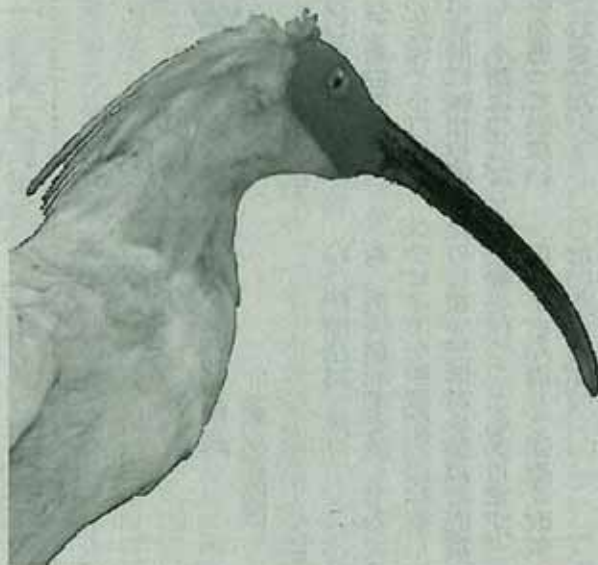
口をもつこともある。花の蜜や他の動物の体液を吸う動物ならストロー状の口。ヒトデにいたっては、口から胃を出して食物を包み、体の外で消化する。

特殊になり過ぎると、環境の変化に対応できないこともある。絶滅した野生のトキは湾曲したくちばしであったが、これが真っすぐであったなら、地表の動物を食べて生き延びたかもしれない。何を、どのように食べるか。動物たちの生き残り戦略でもある。21日から8月31日まで、テーマ展「とらえる・たべる いろいろなくち」で展示。

(県立博物館 飛松千陽)

佐賀市城内1の15の23。電話0952・24・3947。バス停「博物館前」下車、徒歩1分。開館は午前9時半～午後6時。月曜(祝日なら翌日)休館。

トキ・剥製はくせい



コウノトリ目トキ科/野生絶滅/県立三養基高校蔵(県立宇宙科学館蔵保管)